

# 自 己 評 価 表

学校名 愛媛県立宇和島水産高等学校  
 学校番号 44

<b>教育方針</b> 人格の完成を目指し、平和な国家及び社会の形成者としての普遍的な資質を養うとともに、我が国の水産業・海洋業界を進歩発展させるために必要な専門的な知識と技術を習得させ、水産人・海洋人として国家社会に貢献する有為な技術者を育成する。	<b>重点目標</b> 1 我が国水産業・海洋業の産業的使命を自覚させ、国際感覚を持った水産人・海洋人としての資質と実践力を育成する。 2 水産人・海洋人として必要な自律・協同及び勤労の精神を培うとともに、時代に適応した知識・技能を身に付けたスペシャリストを育成する。 3 実践体験を通して学習意欲を喚起し、問題解決能力や創造性の育成に努め、自主的に研究する態度を養う。 4 一人一人の個性に応じた指導を心掛けるとともに、人権意識の向上と豊かな人間性の育成に努める。 5 地域社会との連携を深め、水産・海洋教育の振興に努める。
--	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	学習の習慣化	一日2時間以上の家庭学習を目指す。	D	平日40分、考査中2時間	資格取得を奨励し、補習の参加者を増やす。
	基礎学力の充実	校内漢字テスト・英単語テスト・計算力テストにおける80点以上の生徒の割合40%以上を目指す。	D	9回実施で、漢字4回、英単語3回、計算力テスト3回目標達成	意欲を高める指導や呼び掛けに更に努める。
	言語活動の充実	1時間の授業で、10人以上の生徒に発問する。	B	多くの教員が、授業の充実に取り組んだ。	学校評価アンケート（教員用）の設問を検討し、目標達成状況を正確に把握する。
	表現力の育成	年間5冊以上の本を読む生徒100%を目指す。	C	5冊以上（40%）、3冊以上（56%）。学年が上がるにつれて読む、読まないの二極化が進む。	「朝の読書」、図書館を利用した授業、HR活動等で本に触れる機会を増やし、読まない生徒を減らしていきたい。
生徒指導	基本的生活習慣の確立	1か年皆勤者、各学年50%以上を目指す。	B	1か年皆勤率42%	欠席・遅刻の多い生徒への声掛けなど指導方法の工夫をする。
		身だしなみ指導での再指導者数、各学年5名以下	B	各学年複数人が再指導	根気強く指導し、規範意識を高める。
	豊かな心・健やかな体の育成	特別活動や個人面接等を通して、気力・体力・人権意識を養い、学校生活の充実度100%を目指す。	B	進路に関する個人面接はできた。	部活動の意義や人権意識・命の大切さについて日頃から伝えていく。
	奉仕精神の育成	ボランティア活動をする生徒100%を目指す。	B	各学年・部活等で実施できた。	学校全体で取り組み、さらに機会を増やす。
	安全教育の徹底	登下校のマナーを徹底し、登下校時の事故件数ゼロを目指す。	C	自転車の不備やマナーの悪い生徒がいた。	定期点検や街頭・校門指導の継続と自他の命の大切さについて意識を深めさせる。
進路指導	進学指導の充実	進学希望者の進学率100%を目指す。	A	25名全員合格	国立大学への合格者を出すために学力向上に取り組む。
		水産・海洋系大学等合格者数10人以上を目指す。	A	14名合格	
	就職指導の充実	就職希望者の就職率100%を目指す。	B	42名中36名内定（86%）	基本的生活習慣を確立させる。
		就職希望者の水産・海洋系分野への就職率80%以上を目指す。	C	海洋系分野53%	
資格等取得者の増加	資格試験等に積極的に取り組ませ、一人1資格以上の取得を目指す。	C	67名中58名（87%）	家庭に対して資格取得の重要性を啓発する。	

\*評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。